

政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員会

委員一覧 (35名)

委員長	轟木 利治 (民主)	直嶋 正行 (民主)	藤川 政人 (自民)
理事	足立 信也 (民主)	藤田 幸久 (民主)	松村 祥史 (自民)
理事	辻 泰弘 (民主)	松井 孝治 (民主)	宮沢 洋一 (自民)
理事	牧山 ひろえ (民主)	安井 美沙子 (民主)	長沢 広明 (公明)
理事	西田 昌司 (自民)	吉川 沙織 (民主)	西田 実仁 (公明)
理事	丸山 和也 (自民)	磯崎 仁彦 (自民)	佐藤 公治 (生活)
理事	山崎 力 (自民)	岩井 茂樹 (自民)	中村 哲治 (生活)
理事	荒木 清寛 (公明)	岡田 広 (自民)	小野 次郎 (みん)
	石井 一 (民主)	岸 宏一 (自民)	中西 健治 (みん)
	植松 恵美子 (民主)	佐藤 ゆかり (自民)	井上 哲士 (共産)
	江田 五月 (民主)	山東 昭子 (自民)	行田 邦子 (み風)
	鈴木 寛 (民主)	藤井 孝男 (自民)	(24. 10. 29 現在)

(1) 審議概観

第181回国会において、本特別委員会に付託された法律案は、本院議員提出3件（うち本院継続2件、衆議院継続1件）及び衆議院提出1件（衆議院継続）の合計4件であった。

このうち本院議員提出1件及び衆議院提出1件の合計2件を可決し、本院議員提出2件は審査未了となった。

また、本委員会に付託された請願はなかった。

〔法律案の審査〕

公職選挙法の一部を改正する法律案は、第180回国会において民主党所属議員及び自民党所属議員から提出され、本院で可決し、衆議院で継続審査となっていたものであり、参議院選挙区選出議員の議員1人当たりの人口に選挙区間で不均衡が生じている状況に鑑み、各選挙区において選挙すべき議員の数につき是正（4増4減）を行うとともに、平成28年に行われる参議院議員の通常選挙に向けて、選挙制度の抜本的な見直しについて引き続き検討を行い、結論を得るものとするものである。

委員会においては、選挙制度の抜本改革の方向性、本年10月17日の最高裁判決についての発議者の見解、定数削減の必要性等について質疑が行われ、討論の後、多数をもって原案どおり可決した。

衆議院小選挙区選出議員の選挙区間における人口較差を緊急に是正するための公職選挙法及び衆議院議員選挙区画定審議会設置法の一部を改正する法律案は、衆議院小選挙区選出議員の選挙区をめぐる現状に鑑み、平成22年の国勢調査の結果に基づく衆議院小選挙区選出議員の選挙区の改定案の作成に当たり、各選挙区間における人口較差を緊急に是正するため、公職選挙法及び衆議院議員選挙区画定審議会設置法の一部を改正しようとするものである。

委員会においては、違憲状態とされた選挙区割のまま総選挙を行い違憲・無効とされる懸念、定数削減実現に向けた今後の対応、小選挙区制に対する評価、選挙制度の抜本改革の方向性等について質疑が行われ、討論の後、多数をもって原案どおり可決した。

(2) 委員会経過

○平成24年10月29日(月) (第1回)

○特別委員長を選任した後、理事を選任した。

○平成24年11月15日(木) (第2回)

○理事の補欠選任を行った。

○公職選挙法の一部を改正する法律案(第180回国会参第36号)(衆議院送付)について発議者参議院議員一川保夫君から趣旨説明を聴き、同一川保夫君及び同世耕弘成君に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

[質疑者]

森ゆうこ君(生活)、井上哲士君(共産)

(第180回国会参第36号)

賛成会派 民主、自民、公明、み風

反対会派 生活、みん、共産

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○衆議院小選挙区選出議員の選挙区間における人口較差を緊急に是正するための公職選挙法及び衆議院議員選挙区画定審議会設置法の一部を改正する法律案(第180回国会衆第27号)

(衆議院提出)について発議者衆議院議員細田博之君から趣旨説明を聴き、同君及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

[質疑者]

森ゆうこ君(生活)、小野次郎君(みん)、

井上哲士君(共産)、行田邦子君(み風)

(第180回国会衆第27号)

賛成会派 民主、自民、公明、みん、み風

反対会派 生活、共産